



地域をより美しく

測友会除草ボランティア

測友会の除草ボランティアが10月20日、馬場地区で実施されました。

測友会は菊池郡市内の測量業者有志で構成され、平成21年度から継続的に美化活動を行っています。9回目となった今回は、会員10人が参加。秋晴れの下、馬場地区の古閑原上堀川線の歩道を約3時間除草しました。

作業後には2トントラック1台分の草木やごみが集められ、歩道が見違えるように美しくなりました。



除草作業中の様子

世界の舞台で優勝の快挙

第10回IJFベテランズ国際柔道大会

第10回IJFベテランズ国際柔道大会が10月17日～20日、メキシコで開催され、マイナス66kg級で宇野晋太郎さん(宮ノ上)が見事優勝しました。

宇野さんは、平成29年にもこの大会に出場しましたが惜しくも準優勝。今回念願の初優勝の栄冠に輝きました。

また、今大会の優勝者には、次回大会の出場枠が確保されており、宇野さんの今後ますますの活躍が期待されます。



優勝を報告した宇野さん(中央)

交通安全の意識向上を

カーブミラー清掃活動実施

菊陽町商工会指定「住まいのことならおまかせ隊」の隊員21人が11月13日、地域社会貢献活動として町内のスクールゾーンを中心にカーブミラー約200本の清掃を行いました。

代表の池内隊長は、「日頃からおまかせ隊を利用いただいている町民の皆さまへの感謝の気持ちと、子どもや高齢者の交通事故防止のために取り組みました。今後も恒例行事として続けていきたいと思います」と話しました。



カーブミラーを清掃するおまかせ隊隊員

暮らしを支える税を知ろう

「税を考える週間」作品表彰式

「税を考える週間」作品表彰式が11月13日、合志市総合健康センターで開催されました。

毎年11月11日～17日の一週間は、税務行政への理解と信頼を高めるための「税を考える週間」として定められ、小中学生の税を題材にした書道や作文など、多数の応募がありました。

参加者からは「税金が自分たちの暮らしに不可欠な大切な財源であることについて改めて考える機会になった」との感想がありました。



税金の大切さを考える機会になりました

退職後にボランティアをしてみようと考えている人や、子どもに国際交流を体験させたいと考えている人、外国人と知り合いになりたい人、一歩前に進んでみませんか。

ホストファミリーが英語を話せる必要はありません。短い受け入れ期間からでも始めてみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

☎ AFS熊本支部 牧 ☎(339)2557

外国人高校生のホストファミリー募集

自宅から始まる国際交流

1月～2月は「はたちの献血」キャンペーンの期間です。冬季は献血者が減少しがちなため、輸血用血液が不足しやすい季節です。県では1月～2月の2カ月間、成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く献血を呼びかけています。特に若い人たちが、献血をしたことがない人は、ぜひ400ミリリットル献血・成分献血にご協力をお願いします。



☎ 健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

「はたちの献血」キャンペーン

始めよう献血 君の勇気が命を救う

平成元年2月号から28年12月号までを製本「広報きくよう縮刷版」を販売

町では、「縮刷版3・4・5・6(平成元年2月号～28年12月号)」を販売しています。

この縮刷版は、各行政区に1セットずつ配布しているほか、総合政策課、西部支所、各町民センター、図書館などでも閲覧することができます。

菊陽バイパス(国道57号線)の開通など、基盤整備が進み、町が発展する様子が記録されています。



■販売物

広報きくよう縮刷版3・4・5・6
《1セット4分冊(分売不可)》

■販売価格

1セット 4千円

■購入方法

- ①総合政策課に電話で申し込み
 - ②総合政策課窓口で代金支払い、受け取り
- ※受付時間：午前8時30分～午後5時15分
(土・日・祝日を除く)

■注意事項

- ・申し込みは1人につき1セットまでです。
- ・先着順での販売ですので、在庫がなくなり次第受け付けを終了します。
- ・県外在住などで直接受け取ることができない人はご相談ください。

■問い合わせ

総合政策課 企画政策係
☎(232)2112



バザーの収益金を寄贈

菊陽町地域婦人会による子ども支援活動

菊陽町地域婦人会(酒井恵会長)が11月19日、すぎなみフェスタ2018での町地域婦人会参加によるバザーの収益金の一部を、学校支援金として武蔵ヶ丘小学校に寄贈しました。

受け取った竹下智香子校長から「子どもたちのために有効に活用させていただきます」とお礼の言葉があり、酒井会長は「今回で婦人会の学校支援金活動は6回目となります。今後も引き続き支援を続けていきます」と話しました。



寄贈された収益金は教育活動に活用されます

町のスポーツ振興に貢献

全国スポーツ推進委員功労者表彰受賞

全国スポーツ推進委員研究協議会が11月15日・16日に鹿児島県で開催され、村本文昭さん(武3町内)が全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。

この賞はスポーツ推進委員として10年以上活動した人が対象で、村本さんは平成3年から27年間、各種スポーツ大会の役員や審判など、町のスポーツ振興に貢献されています。

村本さんは「今後も町のスポーツ振興のために微力ながら尽力していきたい」と話しました。



表彰を受賞した村本さん(中央)

体験を通じて大きく成長

食と農の体験塾

町主催講座「食と農の体験塾」を11月24日、宇城市の宮田農園で開催しました。

講座には小学5・6年生15人が参加。電気やガスを使わず、石窯で焼くクッキーやピザ作りなどの体験と、宮田先生の講話を通じて食と農の大切さを学びました。参加者の一人は「体験活動を通して、長生きをする知恵や社会で生きていくために必要なことなどを教えてもらいました。これから活用していきたいです」と笑顔で話しました。



参加者全員で記念撮影

次の世代へつなぐ

入道水管原神社創建525年祭

入道水管原神社で11月23日、創建525年を記念した記念祭が行われました。

入道水管原神社は明応2年(1493年)に創立。熊本地震の際には鳥居が倒壊するなどの被害を受けましたが、区民や出身者による寄付で修復するなど地域と密接な関係にある神社です。

これまで記念祭は50年周期で開催されていましたが、次世代につなぐことを目的に中間年で実施。神事の後には稚児行列や神楽奉納などが行われました。



色鮮やかな稚児行列